

2014年1月 社長年頭所感

第一生命保険株式会社
社長 渡邊 光一郎

明けましておめでとうございます。

昨年、第一生命グループは、中期経営計画として成長戦略「Action D」をスタートさせました。価値創造経営であるDSR経営^{※1}を実践躬行することにより、成長の角度を更に上げることができました。2013年度上半期決算において、生命保険会社の企業価値を示す指標である「エンベディッド・バリュー（EV）」が上場来最高値に達するなど、その成果は着実に現れてきています。

こうした着実な成果を踏まえて、午年に迎える年頭の所感は、
**勇壮な流鏝馬の如く「成長戦略実践の矢」を放ちながら、
新たな決意をもって駆け抜けていく年、即ち「新駆の年」にしよう**
というものです。

第一生命グループでは、皆様のご努力によって、国内生命保険事業のみならず海外事業においても着実な成長を遂げています。また、機関投資家として、日本の成長戦略に貢献すべく、環境・インフラ分野への投融資などのE（環境）・S（社会）・G（企業統治）の視点を盛り込んだESG投資^{※2}にも積極的に取り組んでいます。

そして、この2014年は成長戦略をさらに加速させるために、中核事業である国内生命保険事業において「一生涯のパートナーWith Youプロジェクト」を本格展開していきます。

私たちの力を結集し、お客さまに寄り添って、生命保険を通じた【確かな安心】と第一生命らしい【充実した健康サービス】を提供しお役に立つことで、真の価値創造と大きな成長の実現を目指します。具体的には、新商品「ブライトWay」「クレストWay」を発売し、新たなサービスとして「介護サービスワイド&ダブル」や保険金お受取時の万全な対応の一環として「生命保険信託」の取扱いも開始します。

「安心・健康」などの人々の願いを込めた神事である流鏝馬は、射手が「三本の矢」を放ちながら、馬とともに勇壮に駆け抜けていきます。そして、いわゆるアベノミクスの「三本の矢」と言えば、その三本目は「成長戦略実践の矢」であり、これは私たち企業こそが担うべきものです。

私たちが一丸となって、「一生涯のパートナーWith Youプロジェクト」をはじめとした「成長戦略実践の矢」を勢いよく放ち、新たな決意をもって駆け抜けていく「新駆の年」にしていきたいと思います。

※1 DSR（Dai-ichi's Social Responsibility）経営とは、全社でPDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルを回して経営品質向上に努め、ステークホルダー（利害関係者）の皆さまへ価値を提供する、第一生命独自の価値創造経営です。

※2 E・S・Gとは、それぞれ Environment、Society、Governance の頭文字です。第一生命では、安全性・収益性の視点に加え、社会性・公共性（環境保護や社会貢献、ダイバーシティへの取組み、コーポレートガバナンス等）の視点も盛り込んだ資産運用に取り組んでいます。

以上